

令和4年度行政事業レビューシート (内閣府)

| | | | | | | | | | |
|--------------------------------|--|-------------------|--------------|---|--------------|-------------|-----------|--------------|----------------|
| 事業名 | 構造改革特別区域計画の認定等に必要経費 | | | 担当部局庁 | 地方創生推進事務局 | 作成責任者 | | | |
| 事業開始年度 | 平成14年度 | 事業終了 (予定) 年度 | 終了予定なし | 担当課室 | 地方創生推進事務局 | 参事官 曾我 明裕 | | | |
| 会計区分 | 一般会計 | | | | | | | | |
| 根拠法令 (具体的な 条項も記載) | 構造改革特別区域法 第4条第1項及び第8項 | | | 関係する 計画、通知等 | 構造改革特別区域基本方針 | | | | |
| 主要政策・施策 | 地方創生 | | | 主要経費 | その他の事項経費 | | | | |
| 事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内) | 構造改革特区制度は、地方公共団体の自発性を最大限に尊重した構造改革特別区域を設定し、当該地域の特性に応じた規制の特例措置の適用を受けて地方公共団体が特定の事業を実施し、またはその実施を促進することにより、教育、物流、研究開発、農業、社会福祉その他の分野における経済社会の構造改革を推進するとともに地域の活性化を図ることを目的としている。 | | | | | | | | |
| 事業概要 (5行程度以 内。別添可) | 地域の特性に応じた規制の特例措置の適用を受けて特定の事業を実施することにより、経済社会の構造改革を推進するとともに地域の活性化を図るため、構造改革特別区域法に基づき地方公共団体が作成する構造改革特別区域計画の認定を行う。 また特区において実施される規制の特例措置の評価に当たって、評価・調査委員会は、規制の特例措置を全国展開することによる効果、地域性が強い規制の特例措置かどうか等について、独自の調査を行うものとされており、具体的なデータの収集、関係者からの意見聴取、現地調査等を行う。 | | | | | | | | |
| 実施方法 | 直接実施、委託・請負 | | | | | | | | |
| 予算額・ 執行額 (単位:百万円) | | | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度要求 | | |
| | 予算 の状 況 | 当初予算 | 9.2 | 7.9 | 6.2 | 5.7 | 32.3 | | |
| | | 補正予算 | ▲0.1 | ▲0.8 | ▲0.2 | - | | | |
| | | 前年度から繰越し | - | - | - | - | - | | |
| | | 翌年度へ繰越し | - | - | - | - | | | |
| | | 予備費等 | - | - | - | - | | | |
| | 計 | | 9.1 | 7.1 | 6 | 5.7 | 32.3 | | |
| | 執行額 | | 2.8 | 1.6 | 0.5 | | | | |
| | 執行率 (%) | | 31% | 23% | 8% | | | | |
| 当初予算+補正予算に対する 執行額の割合 (%) | | 31% | 23% | 8% | | | | | |
| 令和4・5年度 予算内訳 (単位:百万円) | 歳出予算目 | 令和4年度当初予算 | 令和5年度要求 | 主な増減理由 | | | | | |
| | 委員手当 | 2 | 2 | ・令和4年通常国会での法改正で新設した自治体への援助規定等を踏まえ、事業の成果実績を的確に把握する観点から経済効果を分析するとともに、優良事例集を作成するための経費として「地方創生推進委託費」を要求。 ・重要政策推進枠:27 | | | | | |
| | 庁費 | 1.4 | 1.2 | | | | | | |
| | 諸謝金 | 1 | 0 | | | | | | |
| | 委員等旅費 | 0.8 | 0.6 | | | | | | |
| | 職員旅費 | 0.5 | 0.5 | | | | | | |
| | 地方創生推進委託費 | 0 | 28 | | | | | | |
| 計 | 5.7 | 32.3 | | | | | | | |
| 活動内容 (アクティビ ティ) | 構造改革特区制度に関する認定申請受付・相談 | | | | | | | | |
| 活動目標及び 活動実績 (アウトプット) | 活動目標 | 活動指標 | | 単位 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 4年度 活動見込 | 5年度 活動見込 |
| | 構造改革特区の認定に向けた事前相談の実施 | 認定申請期間前の事前相談受付件数 | 活動実績 | 件 | 35 | 46 | 45 | - | - |
| 単位当たり コスト | 算出根拠 | | | 単位 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 4年度活動見込 | |
| | 執行額/認定件数 | | 単位当たり コスト | 円 | 164,705 | 76,190 | 17,241 | - | |
| | | | 計算式 | 千円 / 件 | 2,800千円/17件 | 1,600千円/21件 | 500千円/29件 | - | |
| 成果目標及び 成果実績 (アウトカム) | 定量的な成果目標 | 成果指標 | | 単位 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 中間目標 4 年度 | 目標最終年度 - 年度 |
| | 構造改革特区計画の認定 | 構造改革特区計画の認定 件数 | 成果実績 | 件 | 17 | 21 | 29 | - | - |
| | | | 目標値 | 件 | 21 | 19 | 19 | 19 | - |
| | | | 達成度 | % | 80.9 | 110.5 | 152.6 | - | - |
| 根拠として用いた 統計・データ名 (出典) | ○認定件数 https://www.chisou.go.jp/tiiki/kouzou2/ninteisinsei.html | | | | | | | | |

| | | | | | | |
|---------------------|---------------|------|-----------------------------|---|--|--|
| 政策評価、新経済・財政再生計画との関係 | 政策評価 | 政策 | 5. 地方創生 | | | |
| | 政策評価 | 施策 | 5. 地方創生に関する施策の推進 | | 政策評価書 URL https://www8.cao.go.jp/hyouka/r3bunseki/r3bunseki-1.pdf | |
| | | | | | 該当箇所 3ページ | |
| | 生計画改革工程表 2021 | 取組事項 | 分野: | - | - | |
| | | | (新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL: | | - | |
| 該当箇所 | | | - | | | |

事業所管部局による点検・改善

| 項目 | | 評価 | 評価に関する説明 |
|------------------------------|--|--|--|
| 国費投入の必要性 | 事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。 | ○ | 令和3年度に実施したアンケート調査において、制度を活用している自治体の94%が特区の存続を希望している。 |
| | 地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。 | ○ | 当制度は、全国的な国の規制について、各省庁と調整の上で、地域を限定して緩和するものであることから、地方自治体等に委任できる性格のものではない。 |
| | 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。 | ○ | 当制度は、経済社会の構造改革を推進するとともに、地域の活性化を図ることを目的としており、地方創生を実現していくために必要かつ優先度の高い事業である。 |
| 事業の効率性 | 競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 | ○ | 委員手当の支出に当たっては委員の任期や会議の開催時間、出席状況を確認した上で適正に処理を行っており、妥当である。 |
| | 一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。 | 無 | |
| | 競争性のない随意契約となったものはないか。 | 無 | |
| | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | - | - |
| | 単位当たりコスト等の水準は妥当か。 | ○ | 市場価格調査等により単位当たりコスト等の水準が妥当なものになるように努めている。 |
| | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 | - | - |
| | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | ○ | 主な使途は委員手当や庁費であり、認定や評価の実施に際して必要最低限なものとしている。 |
| | 不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) | ○ | 事業の効率的な実施を図りつつ、適正な執行に努めたほか、コロナ禍による影響により、予定していた出張や現地視察等が中止・延期となったため。 |
| 繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) | - | - | |
| その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。 | ○ | 構造改革特別区域計画の認定に当たっては、認定申請マニュアルを作成し、認定申請に係る事前相談期間を設ける等して、業務の効率化に努めている。 | |
| 事業の有効性 | 成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。 | ○ | 令和3年度は目標値を超える達成状況となっており、本事業が推進され、地域の活性化が図られているため、成果目標に見合っているものと考えられる。 |
| | 事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。 | ○ | 当制度は、規制緩和について地域を限定して推進し、これを突破口として全国展開を目指す唯一の施策であるため、他の手段や方法は考えられない。 |
| | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | ○ | 見込み以上に十分活用されている。 |
| | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | - | - |
| 関連事業 | 関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載) | - | - |
| | 事業番号 | 事業名 | |
| | | - | |
| | | | |
| | | | |

| | | |
|---------|--------|--|
| 点検・改善結果 | 点検結果 | ・構造改革特別区域計画により、地域の特性に応じた規制緩和を特例措置として認定することで地域の活性化が一定程度図られ、経済的、社会的効果が表れている。 |
| | 改善の方向性 | ・今後も引き続き予算の効率的な執行に努める。 |

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

| | |
|------|---|
| 現状通り | 事業の進捗状況を的確に把握しながら、事業の有効性、効率性及び成果実績について、より一層の検証に努めること。また、近年の執行率が低調であることを踏まえて、予算要求額の見直しを検討すること。 |
|------|---|

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

| | |
|----|-----------------------------|
| 縮減 | 旅費・庁費に関し、近年の執行率を鑑み要求額を見直した。 |
|----|-----------------------------|

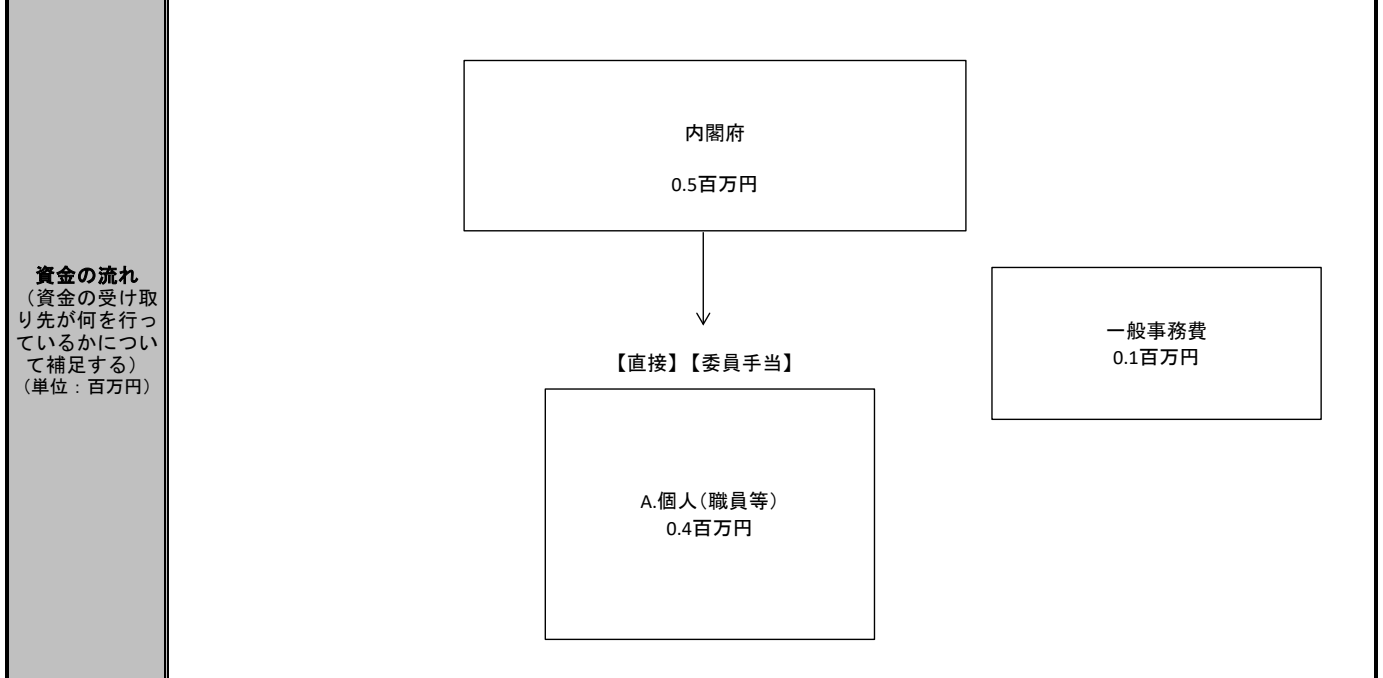
備考

-

関連する過去のレビューシートの事業番号

| | | | | |
|--------|----------------|--|--|--|
| 平成23年度 | 0041 | | | |
| 平成24年度 | 0046 | | | |
| 平成25年度 | 0026 | | | |
| 平成26年度 | 0028 | | | |
| 平成27年度 | 0025 | | | |
| 平成28年度 | 0027 | | | |
| 平成29年度 | 0026 | | | |
| 平成30年度 | 0025 | | | |
| 令和元年度 | 内閣府 - 0026 | | | |
| 令和2年度 | 内閣府 0025 | | | |
| 令和3年度 | 2021 府 20 0035 | | | |

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



| 費目・用途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と用途 の双方で実情が 分かるように記 載） | A.個人A | | | B. | | |
|--|-------|------|-------------|----|----|-------------|
| | 費目 | 用途 | 金額 (百万円) | 費目 | 用途 | 金額 (百万円) |
| | 委員手当 | 委員手当 | 0.1 | - | - | - |
| 計 | | 0.1 | 計 | | 0 | |

支出先上位10者リスト

A.

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式等 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|---|-----|------|------|--------------|-------|----------------|-----|---|
| 1 | 個人A | - | 委員手当 | 0.1 | その他 | - | -- | |
| 2 | 個人B | - | 委員手当 | 0.1 | その他 | - | -- | |
| 3 | 個人C | - | 委員手当 | 0.1 | その他 | - | -- | |
| 4 | 個人D | - | 委員手当 | 0.1 | その他 | - | -- | |
| 5 | 個人E | - | 委員手当 | 0.1 | その他 | - | -- | |